

導への位置づけに伴ない、昭和44年度から2ヵ年連続で4校を学校給食研究校として指定し、給食指導の展開あるいは給食実務の合理化等の研究を行なった。

なお、「学校給食指導の手びき」が改訂されたので、今後その趣旨の徹底をはかる予定である。

## 6 学校保健の振興

学校保健研究学校を教育事務所管内に1校あて計7校をおき研究を推進するとともに、桑折町において開催した第18回福島県学校保健研究大会の開催をはじめ、文部省主催の北海道東北、北関東の養護教諭講習会の開催県となったほか、県内6ヵ所において小・中学校の養護教員および養護担当教員の講習会を開き、また昭和46年度から施行される小学校学習指導要領の保健・安全指導の趣旨の徹底を図るため、小学校教員の5分の1を対象として資質向上講習会を開催するなど、学校保健の振興につとめた。

## 7 学校環境衛生指導の強化

学校環境衛生の維持改善については、学校薬剤師の協力にまつところが大きであるが、本年度より、従来実施していた職種別講習会を、環境衛生講習会に改め、学校環境衛生関係者に対し研修の機会を設け、公害等の当面する諸問題も含めて学校環境衛生検査の実施の強化と関係者の資質の向上をはかった。

## 8 教職員の保健管理の強化

教職員の結核健康管理については、県内全職員の間接撮影を実施し、有所見者に対しては直接撮影を行ない、さらに精密検査を要する者に対しては面接指導をするほか、結核審査会および神経精神障害審査会を設けて教職員の採用、休職及び復職に関し慎重を期するなど、管理の強化をはかった。

### ② 期日・会場・講師数および参加者数

教育事務所	県北	県中	会津	南会津	いわき	相双	計	
期日	6月24・25日 7月2・3日 7月24日 7月29・30日	6月8・9日 6月16・17日	6月15・16日	8月24・25日	6月16・17日	7月7・8日	延19日	
会場	保原小学校 二本松北小学校 福島第四小学校 保原中学校 霊山中学校	船引体育館 船引小学校 船引中学校 石川町体育館 石川中学校	城西小学校 会津若松 第四中学校	田島小学校	平第二小学校 植田小学校 平第二中学校	原町第二小学校	延17会場	
講師数	26	13	13	5	10	7	74名	
参加者数	小学校	186	169	89	35	106	59	644名
	中学校	24	52	45	10	37	25	193名
参加者数計	210	221	134	45	143	84	837名	

### ③ 概要

6教育事務所管内で、それぞれの実情に基づいた内容を取りあげ、効果的に実施できた。なお、参加者も前年度より35名ほど増加し、女子教員も意欲的に参加するようになったことは、指導力の向上が期待されるものであ

## 9 学校安全の徹底

学校保健と同様に学校安全研究学校を指定し、その研究の推進を図るとともに、安全教育の充実と振興に資するため、第6回福島県学校安全研究大会を開催した。

また近年激増する交通事故を防止するため交通安全指導の強化を図り、交通安全指導者講習会を県内6ヵ所において開催する一方、県費補助金による交通安全指導教具の整備を促進するとともに、国及び県の補助金による交通安全教育センターを、昨年度までの10ヵ所に加えて更に5市町村に設置しこれらの施設設備を活用して安全教育の実践的訓練の強化を図ったので、今後大きな成果が期待される。

## 10 へき地学校保健の強化

学校保健をへき地において振興させることは、本県の重要な課題であるが、国庫補助による給水施設の整備およびへき地学校保健管理費の活用と内容の充実により、その成果は除々に発揚されてきている。また、へき地地区における学校保健研究学校の研究実践は地域の保健水準の向上にも大きな貢献をしており、期して待つべきものがあるものと思われる。

## 第2節 学校体育

### 1 学校体育関係各種指導者講習会

#### (1) 小・中学校体育実技指導者講習会

##### ① 目的

各教育事務所ごとに、小・中学校体育担当者の実技指導力の向上を図り、学校体育の充実を期す。

り、今後とも更に充実した講習会にしていきたい。

#### (2) 水泳実技・管理指導者講習会

##### ① 目的

各教育事務所管内教員の泳力や水泳指導力を高めるとともに、安全管理の徹底を図る。